

中部 (藤枝市)

かいらハウス



居場所

「みんなよし」が合言葉 居場所からはじまる共生の場づくり

「かいらハウス」の「かいら」は「皆良=みんなよし」から名付けられました。それぞれの個性を尊重し、大切な存在として認め合い、気軽に立ち寄ることのできる居場所です。代表の今野有子さんが居場所を始めたのは平成27年のこと。障害者福祉に長い間携わってきた今野さんは、地域の中に誰もが集える共生の場を作ろうと思い、使用していなかった実家を活用することにしました。準備期間には近隣の居場所を見学し、実践している皆さんからアドバイスをいただきました。

朝から夕方まで自由に過ごすことができるほか、「くつろぎカフェの場」として手頃な価格のランチやドリンクの提供、「なごみの場」として、歌声広場や機織り体験、子ども食堂の開催。就労支援プログラム「交流ワークの場」など多彩な事業を行っています。



「歌声広場」は「かいらハウス」人気の催し。フォークソングから演歌まで、大きな声で歌い、手や足を動かして脳トレも行います。月2回程度開催。

メッセージ

代表 今野 有子さん



「みんなよし（皆良）」で「かいら」。文字通り、分け隔てなく誰でもおいでいただけますように…という意味合いが込められています。それぞれに個性に違いがあっても、「生命（いのち）」という「ものさし」の中では、誰もが同じ輝きを生み出し続けている大切な存在だということを中心に活動しています。

ここに注目!!



「老いも若きも、子どももみんな一緒に食べましょう!」と「おいわか子ども食堂」を月1回、日曜日に開催。子どもスタッフも活躍中。小学生以下100円。大人200円。



常設の機織り機を使い、ボランティアがていねいに教えている。初心者歓迎。1時間500円（飲み物付き）。



就労支援のプログラムとして、地元企業と協働で「交流ワークの場」を設けている。しいたけの足切など手先を動かした作業を実践。

DATA

☎(054)689-1118 藤枝市前島2-2-5

F A X / 054-689-1118
U R L / https://kaira2015.jimdo.com/
開設時間 / 月～金曜日 10:30～16:30 (不定休有)
*月1回、日曜日あるいは祝日に「おいわか子ども食堂」開催
アクセス / JR藤枝駅南口より徒歩5分
駐車場 / 無(近隣のパーキングをご利用ください)
※視察は事前の電話連絡必要



〈経緯〉

平成27年 「かいらハウス」開設
平成27年度～平成29年度 藤枝市社協「おいで事業」に選定
平成28年 静岡県社協による「ふれあい基金」に選定
平成29年 藤枝市子ども家庭課モデル事業「おいわか子ども食堂」開催
総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)通所型サービスB型認定

〈運営〉

運営主体:かいらハウス
代表者:今野 有子

西部 (袋井市)

街の居場所 もうひとつの家



居場所

駅前のビル1階が居場所 助け合いの精神が世代を超えて伝わっていく

静岡県で最初の居場所とされるのが「もうひとつの家」。平成11年に助け合い活動の中から居場所を始め、平成21年、JR袋井駅前のビル1階に移転しました。「いつ来ても、いつ帰ってもいい」がコンセプト。駅前という立地、ガラス戸を通して中が見えるオープンな造りのため、高齢者や地域の人だけでなく電車やバスを利用する人、会社員や学生、親子連れも気軽に立ち寄ります。長年培ったネットワークにより提供される新鮮で、安心な食材を使ったランチは300円。決して広くはない「もうひとつの家」。丸テーブルを囲み食事をするうちに隣合わせになった人とも会話が弾みます。奥の畳敷きスペースには常連の高齢者の皆さん。おしゃべりをしたりUNOに興じたり、昼寝をしたりと自由気ままに一日を過ごします。駅前のビルの中にもかかわらず、わが家のごとく過ごせる温かな居場所です。



9時のオープン前から常連さんがドア前で待つことも珍しくない「もうひとつの家」。ランチ時は老若男女、市内外の人が訪れとてにぎやか。コーヒー、お汁粉は100円、袋井のB級グルメ「たまごふわふわ」(300円)もあります。

メッセージ

代表理事 稲葉ゆり子さん



誰でも気軽に利用してほしいので、ここには決まったプログラムはありません。一休みしたい、電車やバスを待つ時、待ち合わせの時、ゆっくりした時、誰かと話したい時、気軽に寄ってください。赤ちゃんから100歳近い方まで自然に過ごせる場がいいと思っています。ただ、皆さんに気持ち良く利用してもらうために「人のことを詮索しない、この場にはいない人のことを話題にしない」が暗黙のルールです。

ここに注目!!



毎日、提供しているランチは300円。ボランティアの主婦が毎日、交代で調理。その日の担当者の個性が献立に現れます。食材等必要なものは地域のネットワークで良いものを安く調達。「皆さんからの寄付にも助けられています」と稲葉さん。

●毎週土曜日は「カレーの日」。子どもと80歳以上はカレーが無料に。その他の方は200円です。



ランチの後にUNOを楽しむ常連の皆さん。90歳を超える方も熱中。ちょっと疲れたら、ゴロリと横になって一休み。

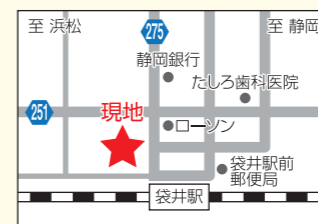


NPO法人「たすけあい遠州」が発行している時間通貨「周」。送迎サービスなどは「周」を使い助け合いをしている。

DATA

☎(0538)43-7775 袋井市高尾町1-1

F A X / 0538-43-7775
開設時間 / 火～土曜日9:00～17:00
アクセス / JR袋井駅前
駐車場 / 有
※視察は多数の場合、事前の電話連絡必要



〈経緯〉

平成7年 任意団体「ふれあい袋井」設立
地域の助け合いを開始
平成9年 「たすけあい遠州」に団体名を変更
平成11年 住宅街に居場所「もうひとつの家」を開設
平成12年 NPO法人化
平成13年 旧東海道沿いの家に居場所を移転
平成15年 田んぼの中の広い敷地の家に居場所を移転
平成21年 JR袋井駅前のビルの1階に居場所を移転

〈運営〉

運営主体:NPO法人 たすけあい遠州
代表者:稲葉 ゆり子(代表理事)